

あのね

2025

2

あのね
2025年 2月号
通巻389号
発行 福音館書店 宣伝課



『ヤービと氷獣』

梨木香歩 作／小沢さかえ 画
定価2,200円(税込)
21×16cm／216ページ
小学中学年から

内容紹介



マッドガイド・ウォーターの冬。そこで暮らす小さいきものヤービたちは、春まで長い眠りにつきます。それは、彼らのご先祖と、「氷獣」とが交わした契約のためと言い伝えられています。ところがヤービは、友だちのナミハナアの幼虫のことが気になり、眠れません。同じころ寄宿学校では、幽霊騒動が持ち上がり……。ヤービたちと人間それぞれに伝わる「ふしぎ」が、彼らを冒険へと誘います。「ヤービ」シリーズ、第三弾。

好評既刊 / 「ヤービ」シリーズ

— Tales of Madguide Water —

定価各1,870円(税込)

第1作

第2作



『岸辺のヤービ』

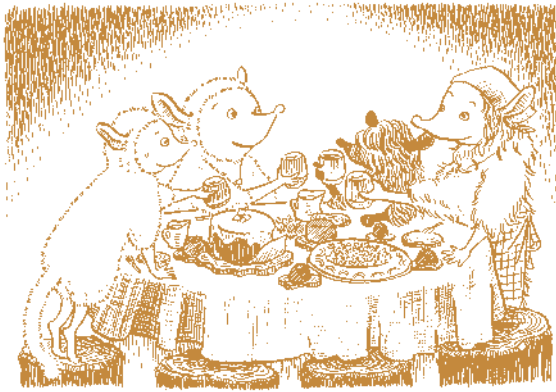
232ページ
ある晴れた夏の日、わたしが湖で出会ったのは、ふわふわの毛の、二本足で歩くハリネズミのような、ふしぎな小さな生き物でした。



『ヤービの深い秋』

240ページ
幻のキノコを探すヤービたちと、ふしぎな手紙に導かれた人間たち、二組の探検隊は、時を同じくして、ややこ森へと出発します。

寒い冬の日、お家で読書を楽しむのはいかがでしょうか。2月の新刊『ヤービと氷獣』は、「ヤービ」シリーズ待望の第三弾、冬が舞台のお話です。2作目から6年ぶりとなる新作について、著者の梨木香歩さんにエッセイをつづっていただきました。



小さな人のこと

梨木 香歩



『ヤービと氷獣』はヤービシリーズ三作目にあたり、舞台は一作目、二作目と同じマッドガイド・ウォーターの、今回は冬の世界です。

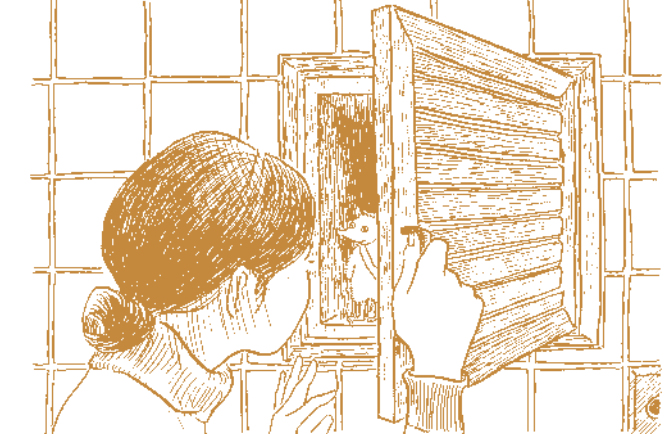
物語は、主人公ヤービとヤービのいとこ、セジロが、二人の友だちのトリカの旅立ちを見送るところから始まります。トリカの家族たちは、冬になると南の国へ避寒の旅に出る習わしなのです。そしてヤービたちも冬眠入るのですが、ふとしたことから、ヤービは木のウロにいるナミハナアの幼虫、ヨンが凍えていなか不安になります。心配のあまり、部屋を抜け出して、真冬の外へ向かいます。伝説の魔物、太古からの種族、

氷獣に見つかるのではないかと恐れながら……。

物心つく頃から、私は「小さい人」たちのことを考え続けてきました。おやゆび姫のお話を知った後は、チュウリップのつぼみができるのを楽しみに、いよいよ咲くというときは、なかに小さいお姫様がいたのではなかつたのかと、目に見える形では、もちろん私の夢は叶えられず、大きくなつた後、私に叶えられず、私に引き寄せていましたので、今は何かの理由で見えないだけで、どこかの世界には、ちゃんといるに違いない、と思うようになりました。でなければ、あまりにもあまりにもつまらないじゃないか、と。

小さい人たちは、自然そのものの精でもあります。声を張り上げていうつもりはありませんが、私は幼いながら、この現実世界を生き抜くために（少なくとも自分には）小さな人たちが不可欠なのだという、生涯にわたる信念にたどり着いていて、いうわけですね。

いつかそういう小さな人たちの物語が書きたい、というのは長年の夢でした。なので、ヤービの物語が誕生したときの感慨は今でも覚えています。しみじみと静かに満ち足りた、思わず目を閉じて何かに感謝せずにはいられない、そういう喜びでした。



今回のヤービでも今までの回と同じように、ヤービたち小さい人たちが、ウタドリさん（ヤービの友人で近くのリースクールの寄宿舎の舎監）をはじめとする大きな人たちが、二つの世界での出来事が並行して語られるのですが、その二つの世界に共通している「脅威」は、知らない間にどんどん大きくなる黒いもの、です。人の心の疑心暗鬼とか、妬ましく思う心とか、不安に思う心、猜疑心、一つずつは小さな始まりでも、それがたくさんの人に伝染して、制御不能になるまで暴走してしまうと、取り返しのつかない悲劇を引き起こします。ヤービたちは、そしてウタドリさんたちは、どのようにそれに向き合うのか。そして、氷獣とは何だったのか。地球の原初からこの惑星の変遷を見守ってきた存在は、どんな思いでいるのか。

なしき かほ ●1959年生まれ。作家。著書に『西の魔女が死んだ』『裏庭』『家守綺譚』『沼地のある森を抜けて』『冬虫夏草』『丹生都比売』『春になったら莓を摘みに』『波りの足跡』『鳥と雲と葉草袋』（以上、新潮社）、『村田エフエンディ滞土録』『雪と珊瑚と』（以上、角川書店）、『海うそ』『僕は、そして僕たちはどう生きるか』（以上、岩波書店）、『f 植物園の巣穴』『椿宿の辺りに』（以上、朝日新聞出版）、『水辺にて』（筑摩書房）『草木鳥鳥文様』（福音館書店）など。小沢さかえとの作品に、絵本『よんひゃくまんさいのびわこさん』（理論社）などがある。

まだまだ寒い冬に読みたい絵本

雪だるまを作ったり、そりすべりをしたり、雪遊びを楽しむ絵本から、雪のなか冬ごもりする動物たちや待ち遠しい春を描いた絵本まで、寒くて厳しい冬だからこそ、心も体もあたたまる絵本を集めてみました。

うさこちゃん、はじめての雪



ゆきのひの うさこちゃん
ディック・ブルーナ 文・絵
いしいもこ 訳
定価880円(税込) / 28ページ
そりすべりをしたり、雪の中で遊びます。雪だるまにはにんじんで鼻をつけ、寒くて泣いている小鳥にはおうちを作ってあげました。

1才から

春の喜びを女の子の気持ちと共に描きます



いいことってどんなこと
神沢利子 作 / 片山健 絵
定価1,100円(税込) / 32ページ
早春の春の訪れの喜びを、女の子が雪の下に咲く黄色い花と出会うまでの心のドラマを通して、清冽に描いた絵本。

3才から

大雪の中、仕事にでかけたお医者さまのお話



ねずみのおいしゃさま
なががわまさふみ 作 / やまわきゆりこ 絵
定価1,320円(税込) / 28ページ
大雪の夜。ねずみのお医者さまは、病気になったりすのぼうやの家へ出かけます。ところが雪でスクーターが動かなくなってしまいます。

3才から



3匹のねずみが郵便配達に大奮闘

ゆきのひの ゆうびん屋さん
こいでたん 文
こいでやすこ 絵
定価1,100円(税込) / 32ページ
風邪をひいてしまった郵便配達のうさぎさんにかわって、3匹のねずみが配達に出かけました。ところが外は大雪です。

2才から



季節の訪れの目賞めと喜びをやさしく描く



はなをくんくん
ルース・クラウド 文 / マーク・シーモント 絵
きじまはじめ 訳
定価1,210円(税込) / 32ページ
雪深い森の中、冬眠から突然さめ、はなをくんくんにさせて駆けていく動物たち。美しい絵と詩のような文で自然の摂理と喜びを伝えます。

3才から

いろんな音を
楽しみながら
春を待つ熊の親子



ぼとんぼとんはなんのおと
神沢利子 作 / 平山英三 絵
定価1,320円(税込) / 32ページ
「ぼとんぼとんってなんのおと？」穴の中で冬ごもりしている熊の坊やが、お母さんに尋ねます。春への季節の移り変わりを描きます。

4才から

寒い雪の日も
ばばあちゃんと
いっしょなら……



そりあそび
さとうわきこ 作・絵
定価1,100円(税込) / 32ページ
ばばあちゃんはみんなで温まろうと、ベッドの上でトランポリンを始めますが、ベッドの脚が折れてしまいます。そこで思いついたのは……。

3才から



はたらきものの
じよせつしゃ けいてー
バージニア・リー・パートン 文・絵
いしいもこ 訳
定価1,320円(税込) / 40ページ
大雪で学校も店も休み、病院も消防署も電話局も困っているとき、トラクターのけいてーの大活躍で、人びとは大助かりします。

4才から

2月の新刊

春の「いいもの」みつけた。数えてみよう！



はるがきた！ いいものいくつ？
おたぐろまり 作
定価1,100円(税込) / 24ページ
春のしるし、公園でいくつ見つかるかな？ 少しずつ増えていく“春”を絵の中に見つけて1から10まで数えていく絵本です。

3才から

妖怪の子どもたちは今日も元気いっぱい！



ここは、ようかいチビッコえん
ヒュードロ・タウンのようかいたち
富安陽子 文 / 大島妙子 絵
定価1,320円(税込) / 32ページ
ヒュードロ・タウン3丁目の「ようかいチビッコえん」にやってくる元気な妖怪の子どもたちの一日を描いた、楽しい絵本です。

4才から

たくさんのごちそう、みんなで食べよう！



おべんともって おはなみに
こいでやすこ 作
定価1,320円(税込) / 32ページ
今日はお花見。きつねのきつこはお弁当を作り、ふくろうのろくすけを誘います。かしころくすけはうらぼうの子守りをしていて……。

5・6才から

あの子はなにを思っているの？



つくしちゃんとながれぼし
いとうみく 作 / 丹地陽子 絵
定価1,320円(税込) / 80ページ
猫を預かることになったつくし。一生懸命お世話をしているが、猫は別れはやってきて……。誰かの心を想像するやさしさにあふれた全3話。

5・6才から

福音館の月刊誌 3月号のご紹介

ピックアップ /

母の友

おとなの方に
定価700円(税込) / 108ページ



72年間ありがとうございました

特集『「生きる」を探しに』
「母の友」、いよいよ、最終号です。「生きる」は「母の友」創刊時からのテーマだったと初代編集長、松居直(1926～2022)が語っていました。それはなぜ？ そして今の時代において、「生きる」とは？



こどものとも 0.1.2. 定価460円(税込) / 22ページ

はなちゃん いない いない ばあ
やぎゆうげんいちろう 作
「いない いない」「ばあ」のこばに合わせて、お花が咲くよ。



こどものとも 少年版 定価460円(税込) / 24ページ
ころえんぴより
いしだえつ子 文 / 斉藤俊行 絵
広い公園での一日を心ゆくまで楽しむ子どもの姿を描きます。



こどものとも 年中向き 定価460円(税込) / 32ページ
えんちようせんせいのイス
筒井頼子 作 / 種村有希子 絵
言葉にできないモヤモヤを、園長先生との時間がほぐしてくれます。



こどものとも 5～6才向き 定価460円(税込) / 32ページ
はいくどうぶつえん
おおぎやなぎちか 文 / サトウマサノリ 絵
園長さんの俳句が次々と現実になり、動物園は大混乱！



こどものとも 3～4～5才向き 定価460円(税込) / 24ページ
かいつぶり もぐった！
神戸宇孝 作
水に潜るのがとっても上手な小さな水鳥。その名は、かいつぶり！



こどものとも 5～6才向き 定価460円(税込) / 28ページ
そっちらわたし、どんなふうにみえてる？
越智典子 文 / 堀川理万子 絵
自分が見ているのと同じように、向こうからも見えているのかな？



こどものとも 小学3年生から 定価810円(税込) / 40ページ
たくさんふしぎ
タサン志麻さんのにんじんパーティー 料理のまほう
タサン志麻 文 / 大島裕子 絵
にんじん1本で何が出来る？ レシピのいろいろな料理のまほう。

あのね Web ページ

https://www.fukuinkan.co.jp/detail_contents/?id=235

Facebook

www.facebook.com/fukuinkan

ホームページ

<https://www.fukuinkan.co.jp/>

Instagram

@fukuinkan_pr

X

@Fukuinkan_PR

LINE

@fukuinkan_shoten

発行 ● 福音館書店 宣伝課 〒113-8586 東京都文京区本駒込6-6-3 TEL 03-3942-2066 FAX 03-3942-2067

デザイン ● 笹野芳絵